

新型コロナウイルス感染症に関する状況を踏まえた 生涯学習・社会教育のあり方について (審議の視点例)

- 学校臨時休業や外出自粛を通じ、学びや生活が大きな影響を受けた一方、遠隔授業やテレワークなど、新しいテクノロジーを活用した学びや働き方が進んだ。これらの取組の成果と課題を洗い出し、改善・充実させ人々の学びや生活をしっかりと保障していくことが重要となる。
- 新型コロナウイルス感染症への対応を通じ「誰一人取り残さない」というSDGsの理念の重要性が改めて共有されている。
また、新型コロナウイルス感染症という「答えのない課題」に対し、様々な機会に、多様な他者との連携・協働による課題解決の取組が進められている。
- 以上をはじめとした、新型コロナウイルス感染症に関する状況を踏まえ、これからの生涯学習・社会教育をどのように位置づけ、どのように推進していくべきか。